公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	成瀬中央あおぞら学童保育クラブ		
施設概要	【所 在 地】町田市成瀬2-8(成瀬中央小学校校舎内) 【開設年月】1983年 【開所日時】月曜日〜土曜日/8時〜19時 【建物面積】延床面積 201.6㎡ 【建物構造】鉄筋コンクリート造 3階建て校舎等1階部分 【児 童 数】84名(2023年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指 尊を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令•条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課 問合せ先 042-724-2182		
施設ホームページURL	https://www.machida-gakudou.com/index.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 町田市学童保育クラブの名	法人番号	8012305001202		
指定管理者所在地	T田市中町1-19-5				
指定期間	2019年4月1日~2024年3月31日	9年4月1日~2024年3月31日			
ち ウ ラ	1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつの提供等 2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等				
利用料金制	□該当 ■併用 □非該当 ;	選考方法 ■	公募	□非公募	

2. 選定時の提案内容

2. 选定的 0 使来 1 音		
提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
保育中の子どもの事故防止のため、ヒヤリハット委員 会にて事例の分析・検証を行う	2023年度	クラブの事故の件数や内容を分析、検証し、 職員間で共有し、職員配置の見直しを行い、 再発防止に努めた。
利用者満足度調査の全体満足度の項目において、満足・やや満足と付けた保護者の割合を85%以上とする。	2023年度	89.5%の保護者が「満足」「やや満足」と回答し、目標値を上回ることができた。保護者、児童に寄り添った声掛けをするよう努め、支援員の対応については高評価を得た。
研修参加の回数を10回以上とする。	2023年度	平均13.5回の研修を受講した。町田市主催の 研修に積極的に参加し、資質向上に努めた。

3. 昨年度の課題

内容

4. 総合評価及び所見

総合評価	В	【総合評価基準】A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている		
所管課総合所見(特筆 すべき点(Sの場合必 須)、提案内容の実現状 況、昨年度の課題への 対応等)	利用者満足度調査について、全体及びサービス・施設管理面において、ともにB評価の基準を満たす85以上と、一定以上のサービスを提供していると判断できる。 研修の平均受講回数はA評価の基準を超える13.5回であり、積極的に職員の能力向上に取り組んでい 判断できる。 業務履行状況・財務状況は全項目「適」と要求水準を満たす運営を行っていた。 以上のことから、総合評価を「B」とした。			
指定管理者所見(補足 説明・アピール・未達成 項目の改善策等)	上を図った。 ・利用者アンケーいく。 ・保護者が子どた。 ・地域貢献としてする13クラブので 幼児子育て支援・社会活動への	管理システムを2月より導入し、保護者からの欠席連絡や一斉メール配信等、利便性の向ートにおいて、支援員の対応について利用者満足度は高い評価となった。次年度も継続してもたちを知る機会として、保護者が参加する行事を増やし、保護者同士の繋がりが広がって、子どもの居場所事業「ロケットキッズ(ペットボトルのロケットづくり)」を、法人が管理運営在籍高学年と卒会した高学年を対象に11月・12月に鶴川第三小学校で開催した。また、乳長事業として「ぷちくれよんひろば」を開催した。参加としてみちピカ町田を実施し地域の環境美化の意識を高めることに繋がった。併せて家」を確認をする機会とし安全教育も行った。		

指定管理者所見(補足 説明・アピール・未達成 項目の改善策等) ・保護者と支援員の学習会「いのちの広場」を法人全体で開催した。当日は親子参加もあり、いのちの大切 さを子どもと大人で共有する場となった。

・情報セキュリティ対策として、デバイス証明書を用いた端末固有の識別 IDでアクセスを制御した。また、メール暗号化や添付ファイルの Web ダウンロード化機能等を備えるクラウド型メール セキュリティサービスの導入を行った。

・法人が管理運営する7クラブで合同行事をオンラインで行い、伝承あそびの技をそれぞれのクラブで見せ合い、交流を図った。

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要

【調査期間】2023年9月4日~10月6日(33日間)【登録児童数】82名(調査月1日時点)

【配布枚数】61枚 【回答数】49枚 【回収率】80.3%

【調査方法】(配布方法)ICTシステムを活用してメール配信、またはアンケート用紙の配布 (回収方法)

Web回答またはクラブ内のポストにアンケート用紙を投函

指標1		評価基準		結果	評価
利用者満足度 (全体満足度)			85%	89.8%	В
指定期間内における	指定期間内における実績(単位:%)				
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	85	85	85	85	85
実績値	92.7	100.0	89.5	96.2	89.8

指標2		評価基準		結果	評価
(サービス、施設管理面部において、満足・やや満別利用者満足度 (サービス・施設管理面) A:95%以上 B:75%以上~95%未満 C:75%未満		i足・やや満足とつけたの平均) ~95%未満	85%	89.5%	В
指定期間内における	指定期間内における実績(単位:%)				
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	85	85	85	85	85
実績値	91.5	97.7	92.1	92.7	89.5

指標3		評価基準		結果	評価
		市及びその他関係機 会回数の平均) D回未満	10回	13.5回	A
指定期間内における	指定期間内における実績(単位:回)				
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	10	10	10	10	10
実績値	14.7	12.0	13.3	15.0	13.5

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
В	利用者満足度においてB評価の基準を満たす75%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており満足度は要求水準に達していた。保護者からも一定以上の満足度を得られていることから、適正な運営が行われていると判断できる。アンケート回収率は75%を超えており、利用者の意見の収集に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は13.5回とA評価の基準を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけではなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。

6. 業務履行状況の確認

(1)指定管理業務の履行状況の確認

大項目	中華条例の限行状況の確認	要求水準	履行状況	適否
平等利用	保護者・利用者への平等 な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実 施	保護者・利用者への平等な取扱いを 「学童保育クラブ入会のしおり」及び 「児童ケース記録」等で確認した。	適
の確保	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール 配信等での情報発信	保護者へ適切に情報提供をしている ことを「おたより」等で確認した。	適
施設の	運営方針・指導計画・年間 指導計画に基づく保育の 実施	事業計画に基づく事業の実施	事業を適切に実施していることを「年間計画」及び「実施報告書」で確認した。	適
運 方営 針方 針	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	「育成日誌」及び「育成記録」を、各期日までに適切に提出していたことを確認した。	適
· 管 理	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	適切に点検を実施していることを「安全点検チェックリスト」等で確認した。	適
情報公開	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制が整備されている ことを「個人情報保護規定」、「指定管 理者個人情報保護規定」等で確認し た。	適
· 個 人 情	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が、施設 内の鍵付き書庫等で適切に保管され ていることを目視で確認した。	適
情 報 保 護	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開体制が整備されていること を「文書管理規定」で確認した。	適
要 望 対	要望対応体制の整備	要望対応体制の構築	苦情対応の体制が構築されていることを「苦情解決規定」で確認した。	適
対 応	要望窓口の周知	意見・要望を受け付ける窓口の周知、意 見箱の設置等	苦情受付窓口が掲示板等で周知され、施設内に意見箱が設置されていることを目視で確認した。	適
	緊急時・災害時に備えた 体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていることを「緊急時対応マニュアル」 等で確認した。	適
危 機 管 理	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回 以上、交通安全に関する訓練を年1回以 上実施。	火災、地震、防犯に関する訓練を年2 回以上、交通安全に関する訓練を年 1回以上実施していたことを「事業報 告書」で確認した。	適
	子どもの病気や事故に対 する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていることを「緊急時対応マニュアル」等で確認した。	適
人的安	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員が配置されていたことを 「育成日誌」及び「シフト表」で確認した。	適
的 安 定 性	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していた ことを「研修記録」で確認した。	適
管理経	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいたことを「事業収支決算書」等で確認した。	適
費の縮減	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	長期間使用しない家電等のコンセント を抜き、電気使用量を最小限にする 等、管理運営経費の削減に取り組ん でいたことを目視で確認した。	適
地域	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していたことを「事業報告書」等で確認した。	適
貢 献	市民雇用	町田市民の雇用	市民雇用率が100%であることを「職員調書」で確認した。	適

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリ	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2024年1月12日に同一法人が管理するつくし野学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
ン他	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項 目が「適」である。	2024年1月12日に同一法人が管理するつくし野学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1)公の施設に係る収支

単位:千円

年位.十月											
年度		2019		2020		2021		2022		2023	
項目		予算	決算								
収入	指定管理料	26,969	21,106	20,204	20,627	27,684	22,412	29,823	25,584	30,056	23,892
	特別育成料	355	457	455	328	343	248	352	384	381	391
	雑収入	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1
	寄附等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	27,324	21,564	20,659	20,956	28,027	22,661	30,175	25,970	30,437	24,284
支出	人件費	21,535	16,543	14,720	15,605	22,380	17,536	24,946	20,055	25,213	18,027
	管理費	556	390	551	779	700	1,542	789	397	800	536
	運営費	506	459	491	303	539	365	689	395	707	549
	精算する経費	1,700	775	1,700	725	1,700	863	1,700	1,309	1,700	1,535
	間接経費	3,027	2,021	3,197	2,076	2,708	1,773	2,051	2,060	2,017	2,459
	計	27,324	20,188	20,659	19,488	28,027	22,079	30,175	24,216	30,437	23,106
総計(収入-支出)		0	1,376	0	1,468	0	582	0	1,754	0	1,178

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	1.3	2.5	3.5	2.6	1.6
負債比率	39.4	32.6	55.7	47.4	55.7

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる収支については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率は低下しているが、負債比率は100%を下回っており、今後も 適切な施設運営が可能であると考える。